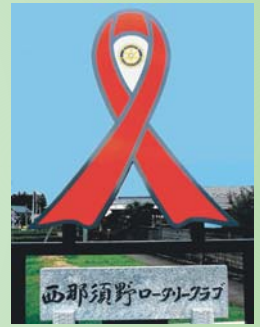


Service Above Self (超我の奉仕)
西那須野ロータリークラブ週報
 Nishinasuno Rotary Club Weekly

・月井 美好 西那須野ロータリークラブ会長テーマ・
クラブ創立の原点を見つめ 前進しよう



第2468回(本年度第13回)2025. 10. 28



RIテーマ

よいことのために手を取りあおう

"Unite for Good"

フランチェスコ・アレツォ RI会長



地区テーマ

ロータリーは
人をつくり 友情を育む

二十二 修 2550地区ガバナー



開会宣言・点鐘 会長 月井 美好さん
 司会 SAA 郡司 義貴さん
 ロータリーソング
 お客様紹介



会長の時間

会長 月井 美好さん

私の中学校の先輩に2023年1月28日お亡くなりになった人間国宝の勝城蒼鳳さんがいます。勝城さんは1934年2月23日栃木県那須郡高林村(黒磯町・黒磯市、現在的那須塩原市)に生まれる。



1949年に15歳で菊地義伊に弟子入りして、竹工芸を学び始めました。はじめは落ち葉を入れる木の葉籠や刈り取った草を運ぶ草刈り籠、雑草取りに必要な草取り籠から始めました。納品先は農家です。

その後、八木沢啓造や斎藤文石にも指導を受けました。大田原市練貫の勝城家に嫁ぎ勝城一二となる。1968年日本伝統工芸展に初めて入選を果たし、以後『蒼鳳』の号を使用する。命名者は八木沢師から贈られたものです。

勝城さんの作品は母校の高林中学校・勝城さんが世に出るまで勝城さんの作品を求め続けた板室

11月11日 例会プログラム

- 12:30 開会宣言・点鐘 月井美好会長
- 12:31 国歌斉唱(君が代)
ロータリーソング
- 12:33 お客様紹介 月井美好会長
- 12:34 会員誕生・配偶者誕生・結婚祝
星野 仁親睦委員長
- 12:35 皆出席・在籍年数祝
永山三好出席委員長
- 12:36 米山奨学金授与 月井美好会長
国際医療福祉大学 孫 皓程さん
文星芸術大学 王 詩晴さん
- 12:38 理事会報告 小中一成会長エレクト
- 12:48 委員会報告 各委員長
- 12:49 会長の時間 月井美好会長
- 13:04 幹事報告 田原直之幹事
- 13:07 会員卓話 猪瀬康雄国際奉仕委員長
- 13:17 外来卓話 IUHW RAC
伊達穂乃花会長
鈴木千里会員
野澤このみ会員
- 13:27 スマイルボックス報告
大塚 久スマイルボックス委員長
- 13:29 出席報告 永山三芳出席委員長
- 13:30 閉会宣言 点鐘 月井美好会長

無断欠席は会費の無駄遣いです。無断欠席罰金 2,000円徴収。
 SAA 郡司 義貴 (携帯 090-1667-3497)
 FAX 0287-36-8536 TEL 0287-36-0239

会長 月井 美好 幹事 田原 直之
 会報委員会 金田 道太・伊藤 悟・久保 世一
 森 英夫

温泉のホテル大黒屋のオーナー室井俊二さんの支援は大きいものでありました。勝城さんの作品を一番収蔵していると思います。

クラブ会員の中にも素晴らしい作品を複数所有しているメンバーがおります。勝城さんは斎藤文石氏に師を変え作品の制作にあたりました。

1972年日本工芸会正会員になり日本伝統工芸展、第30回では東京都知事賞、第44回でNHK会長賞を受賞。受賞作品は国立工芸館に所蔵されております。

作品は大田原道の駅「与一伝承館」・大田原市役所でも見ることができます。勝城さんは大田原市の名誉市民にも推挙され竹工芸の傍ら農業に従事し毎年大黒屋さんに軽トラックで新米を届けていました。

2005年に重要無形文化財「竹工芸」保持者に認定されました。勝城さんの作風は自然の情景を題材としており、花の表現に使用した「千集編」水の表現に用いた「引っかけ編み」といった技法を編み出しました。

実用品としての竹、食品としての竹(タケノコ)、抗菌、消臭効果、文化的な象徴としての竹、門松(新年に歳神様を迎えるための縁起物)、強さと繁栄の象徴、竹のまっすぐに伸びる姿は強さや成長を象徴し古くから人々のこころを支えてきました。

私の会社の会計処理をお願いしておりました大田原の藤沼会計事務所の藤沼先生の弟さんがもう一人の人間国宝重要無形文化財「竹工芸」藤沼昇さんです。

1945年大田原市生まれ、お父さんは大工さん、おじさんは建具屋さん、地元の高校を卒業後外資系の会社に就職。昭和51年に八木沢啓造氏に師事し本格的に竹工芸を始める。

藤沼さんの作品はアメリカメトロポリタン美術館・大英博物館など名だたる美術館に収蔵されており海外のコレクターから高い評価を得ています。

藤沼さんの作品はその9割以上が米国を始め海外のコレクターの元へ渡っており、海外で評価が高く日本では勝城さんが5人目、藤沼さんが6人目として人間国宝が誕生しております。

人間国宝は竹工芸ではこれまでに8名が誕生しておりますが、そのうち2名が那須地域から選ばれております。特に大田原は竹工芸の町としてレ

ベルが高い街です。黒羽地区には女性の竹工芸作家もおり、女性初の人間国宝を嘱望されている作家さんもおります。私の知人も90歳で作品作りに励んでおりその作品の一部を本日お持ちしました。

委員会報告

国際奉仕委員長 猪瀬 康雄さん

- ・桃園ロータリークラブ周年行事に参加します。
- ・とちぎナイトへの参加者募集しています。よろしく願いいたします。

ロータリー財団副委員長 星野 仁さん

- ・来月強化月間になります。協力よろしく願いいたします。

ガバナー補佐 渡邊 渉さん

- ・ポリオ撲滅チラシ配布への協力ありがとうございました。事業所へのチラシ設置の際はよろしく願いいたします。

会長 月井 美好さん

- ・姉妹クラブパラニャーケロータリークラブへは飛行場で待ち合わせをした後、向かうようにいたします。



ロータリーの友 記事紹介(10月号)

星野 仁さん

2025年10月号のロータリーの友を紹介いたします。

(横組み3ページ) まず、最初にRI会長(フランチェスコ・アレツォ)メッセージをご紹介します。

10月は、ロータリーの「地域社会の経済発展月間」です。持続可能で活気ある地域社会を築けるよう支援する取り組みに光を当てる機会であり、ロータリーの中核的価値観の一つである「リーダーシップ」とも完全に一致しています。

リーダーシップとは、人々に自ら進歩を導けるような力を与えることです。

インドの先住民族・アディバシの女性にミシン縫製の訓練を提供し、自立と社会復帰への道を開きました。この活動により、彼女たちは、生計を立て、再び社会に参加できるようになったのです。

リーダーシップとは、必ずしも前面に立つことではありません。人の声に耳を傾け、協力し、他社の声を広めることもリーダーシップです。

そうした姿勢こそ、ロータリーの理念の革新であり、経済発展における私たちの持続的インパクトの基盤なのです。善意をもって導き、真心を込めて支援しましょう。

誰もが恩恵を受けられる経済を支え、持続可能な地域発展プロジェクトを共に実現していきましょう。

(横組み4ページ) 良いことのために手を取りあおう

ロータリーの誕生とその成長

日本のロータリー ロータリーの目的 四つのテスト

(横組み5ページ)

一献を紡いで ~さけづくりと、まちづくり~ 日本各地の清らかな水、豊かな穀物、息づくこうじ、そして、杜氏や蔵人たちの卓越した技と深い知恵。それらの結晶こそが、日本酒です。

地域社会に貢献する蔵元 全国ロータリアン蔵元リスト

(横組み13ページ)

四字熟語で味わう、酒のある人生

・酒池肉林 ・酔生夢死 ・杯酒解怨

お酒を介して生まれた、教訓や人生の風景のよななもの。酔いの中に、人間の本質が垣間見えることもあるでしょう。次に杯を手にするとき、そこにどんな風景があるのでしょうか。

(横組み15ページ・16ページ・19ページ)

よねやまを知って親しもう! 年表

「よねやま」親善大使を呼ぼう 地区別寄付額・功労者数・奨学生数

(横組み22P~29P) 2025-2026台北大会に行くべき理由・観光ガイド)

(横組み30P~33P) END POLIO NOW

(横組み41P) エバンストン便り オラインカ・ハキーム・ババロラ氏

2026-2027年度RI会長に選出されました。

(縦組み2P~6P)

野並直文 株式会社崎陽軒代表取締役会長

シウマイの街鹿沼 ~崎陽軒の発展~

鹿沼生まれの野並茂吉が横浜名物を生み出すまで「人間、命さえあればどんな境遇に落ち込んでも跳ね返すことができる」

「崎陽軒のシウマイのような夫婦になって下さい」

工場見学ツアーで従業員の士気が向上

ローカル色をテコに。歴史から得られる教訓

1. ハンディキャップをバネに

2. ローカル色をテコに

3. 製品の差別化

4. 話題性のある販売促進

地域ブランドの6ヶ条

1. 地域の誇りである

2. 地域限定

3. 地域の文化、風土と一体になっている

4. 安心安全が見えるように 分かるように

5. 地域の価値を引き立てるもの

6. 地域の人たちが日常的に消費

地域の人たちが日常的に応援してくれることが非常に大事なことなんだ。

(縦組み14P~17P) 友愛の広場

(縦組み19P) ロータリーあるある相談室

ロータリアンの三大義務は、「例会への出席」、「会費の納入」、「ロータリーの友」ロータリーの雑誌購読」です。進んでロータリーの友を読みましょう。 本日はありがとうございました。

友の記事 10月号紹介 (福本さん投稿)

福本 光夫さん

○横組みのページ

3p RI会長メッセージ「地域社会の経済発展月間」

地域社会主導の開発とは、住民一人ひとりが主体となって地域の課題を見つめ、資源を活かしながら持続可能な社会を築く取り組みです。

ロータリーの経済発展プロジェクトもその理念に基づき、人々が自らの力で生活を改善できるよう支援します。南インドでは、ロータリー会員が社会的に弱い立場の女性にミシン縫製の技術を教え、自立と尊厳の回復を実現しました。リーダーシップとは、人々に進む力を与えることなのです。

5～14p 「一献を紡いで～さげづくりとまちづくり」

池島会員がずっと詳しい内容だと思いますが、ユネスコの無形文化財になった日本の酒づくりは、清らかな水と穀物、杜氏の技に支えられ、地域の風土と文化を映す存在です。酒蔵は地域の人々を結びつけ、伝統を継承しながら新たな価値を創出してきました。6クラブ事例がありますが、ロータリアン蔵元は、酒造りを通して地域資源を活かし、観光振興や若者の雇用創出、環境保全などに貢献できます。

さらに、ロータリアンが連携して「地酒を軸とした地域ブランドづくり」「酒蔵見学や祭りを通じた地域交流」などを推進することで、地域経済の活性化と共生社会の実現が期待されます。蔵元一覧の他に13Pにはお酒にちなんだ四字熟語があります。「酔生夢死」、「酒杯解怨」は、初めて知りました。

16～19ppは、「米山月間」の特集記事です。

例会で田島ロータリー米山記念奨学会地区委員長からも話をいただきましたが、特別寄付は、渡辺将宏委員長までお願いいたします。

22～31p 特集「質問の答えを探す旅～台北大会に行くべき理由を徹底解説」

来年6月の国際大会は、台北で開催されます。台湾は隣国であり、さらに40年にわたる姉妹クラ

ブ・桃園RCの地でもあります。

本大会では、高橋智純ガバナーエレクトが地区の国際大会参加推進委員長としてリーダーシップを発揮されます。見出しのあるように、まさに「ついにあなたが参加する時が来ました」。

次の国際大会は、友情と学びを深める絶好の機会です。皆さんで参加しましょう。

32～33pは、10月24日の「世界ポリオデー」特集 ○縦組みです。

「シウマイの街鹿沼～崎陽軒の発展」と題し、鹿沼市出身の初代社長・野並茂吉氏から続く、崎陽軒の歩みと経営理念を野並直文社長が語った講演要旨です。

講演では、創業の精神を支える4つの教訓とブランドを守る6ヶ条が紹介されました。

特に「崎陽軒のシウマイのような夫婦になってください」という言葉が印象的で、豚肉と帆立貝という異なる素材が互いを引き立て合うように、人と人、企業と地域も調和してこそ力を発揮するという温かなメッセージが伝えられました。

最後、50p 「あるある相談室」もお勧めです。

スマイルボックス報告

委員長 大塚 久さん

月井 美好会長①寒くなりましたね。体調管理をお願いします。

②来週、桃園に行ってきます!!

青山 吉博さん ロータリーの友記事『崎陽軒』…思わずロス弁当購入しました。

福本 光夫さん 2度目の監査、予定よりはやく終了しました。感謝・・・。

星野 仁さん 10月25日ポリオ撲滅キャンペーンお疲れ様でした。

小関 栄さん 角橋さんから『北海道は雪が舞っている』そうです。もうすぐ冬将軍ですね。

出席報告		出席委員長 永山三芳さん	
10月28日 第2468回(本年度第13回) 会員数42名			
出席	20名	前回10月21日	2467回例会
欠席	22名	欠席	15名
出席免除者	0名	M・U	名
出席率	47.62%	修正出席率	64.20%